

平塚市ごみ通信

回 覧

第 8 号

平成25年3月1日発行

発行 平塚市 環境部 資源循環課（平塚市浅間町9-1）
TEL : 0463-21-9763（直通） FAX : 0463-21-9603

（平塚市のホームページでも掲載しています）<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/shigen-j/gomi-top.htm>

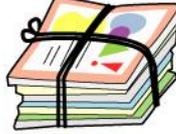
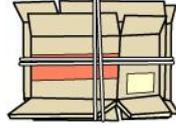
古紙・布類は大切な資源です

資源再生物を燃せるごみに出してしまうと再利用や分別ができなくなります。

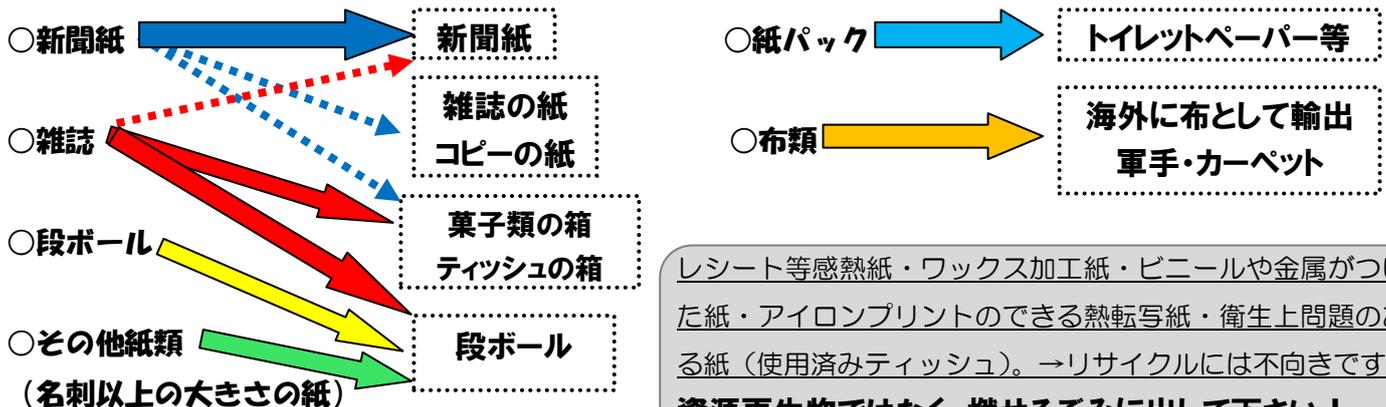
平塚市では1年間に出るごみのうち、**約7割が燃せるごみ**で、そのうち、**約4割が古紙・布類**です。資源再生物として分別することにより、燃せるごみの減量になり、資源として再生されるので、紙や布の原料の使用も少なくすることができます。

古紙は新聞・雑誌・本類・段ボール・紙パック以外にも、包装紙や紙箱、メモ帳等の**名刺以上の大きさの紙**も「その他紙類」として、回収・再生が行われています。**布類**は衣類やタオルケット、毛布、靴下等が回収・再生されています。なお、出し方については下記に詳しく載せましたので、参考にして下さい。資源物は資源再生物に分別して出す、そして再生された物を使う、このリサイクルの輪が途切れないようご協力をお願いします。

古紙・布類の出し方

<p>○新聞紙</p>  <p>折り込み広告も一緒に出せます。</p>	<p>○雑誌・本</p>  <p>点字の印刷物は燃せるごみになります。</p>	<p>○段ボール</p>  <p>段ボールを燃せるごみの容器に使わないで下さい。</p>	<p>○布類 ※雨の日は出せません</p>  <p>ひもで縛るか、紙袋に入れて出して下さい。</p> <p>汚れが酷い場合は30cm角に切って燃せるごみへ</p>
<p>○その他紙類</p> <p>はがき・封筒 パンフレット 包装紙・ノート お菓子の箱など</p>  <p>紙袋に入れて出して下さい。</p> <p>名刺以上の大きさの紙は資源になります。</p>		<p>○紙パック ※雨の日は出せません</p>  <p>①洗う ②切り開いて、③専用のコンテナへ乾かす</p> <p>内側にアルミがコーティングされているものは燃せるごみへ</p>	

資源再生物に出された古紙・布類はどんな物に再生されるのでしょうか



レシート等感熱紙・ワックス加工紙・ビニールや金属がついた紙・アイロンプリントのできる熱転写紙・衛生上問題のある紙（使用済みティッシュ）。→リサイクルには不向きです。
資源再生物ではなく、燃せるごみに出して下さい！

次期環境事業センター建設工事状況をお知らせします

現在の環境事業センター（ごみ焼却施設）は、稼働開始から25年が経過し施設の老朽化が進んでいます。このため、平成22年度から大神地区にある環境事業センターの西隣に、新しい施設を建設しています。

この次期環境事業センターでは、ごみを焼却することで得られる熱エネルギーを利用して廃棄物発電を行います。発電量は最大で約1万世帯分の使用電力に匹敵し、発電で得られた電力は、所内で使用する他、余った分は電力会社に売却する計画です。

現在は、建屋工事を継続施工中です。煙突工事は、内筒工事まで完了し、これから外壁塗装工事へ着手します。プラント部分では、ボイラー、タービン等の大型機器の据付けが概ね完了し、建屋の外壁塗装や計量棟の基礎工事を行っています。完成は、平成25年9月を予定しています。工事期間中は、工事車両等で御迷惑をおかけしますが、御理解、御協力をお願いいたします。



次期環境事業センター

工事中的の様子(平成25年1月31日現在)



生ごみの自家処理について① 土穴法—土に直接還元する方法—

スコップで縦・横・深さとも20cm位の穴を掘ります。2人暮らしの家庭なら約45日、3人暮らしの家庭なら約25日使えます。生ごみは三角コーナーなどにたまっているものをそのまま入れます。猫や虫が気になる時は蓋をかぶせます。

穴が一杯になったら長靴を履いて踏みつけると、生ごみを入れる余裕ができます。それを繰り返して、生ごみで一杯になったら、近くに別の穴を掘り同じように行います。



必要なのは長靴とスコップだけ

平成25年4月1日からごみの収集時間が変わります

事業ごみ収集制度廃止や家庭から排出されるごみ量の変化、集積所の増減等に対応し、ごみ収集運搬経費削減と効率的な収集作業を目指すため、平成25年4月1日から収集作業体制及び収集ルートの変更を行います。収集ルート変更に伴い収集時間が変わるステーションがあります。

ごみは、収集日の**朝7時から8時30分**までに排出していただくようお願いいたします。収集後のごみ排出とまらないようご協力をお願いします。



この記事に関するお問い合わせ先

環境部 環境業務課

[直通電話 0463-21-8796]